

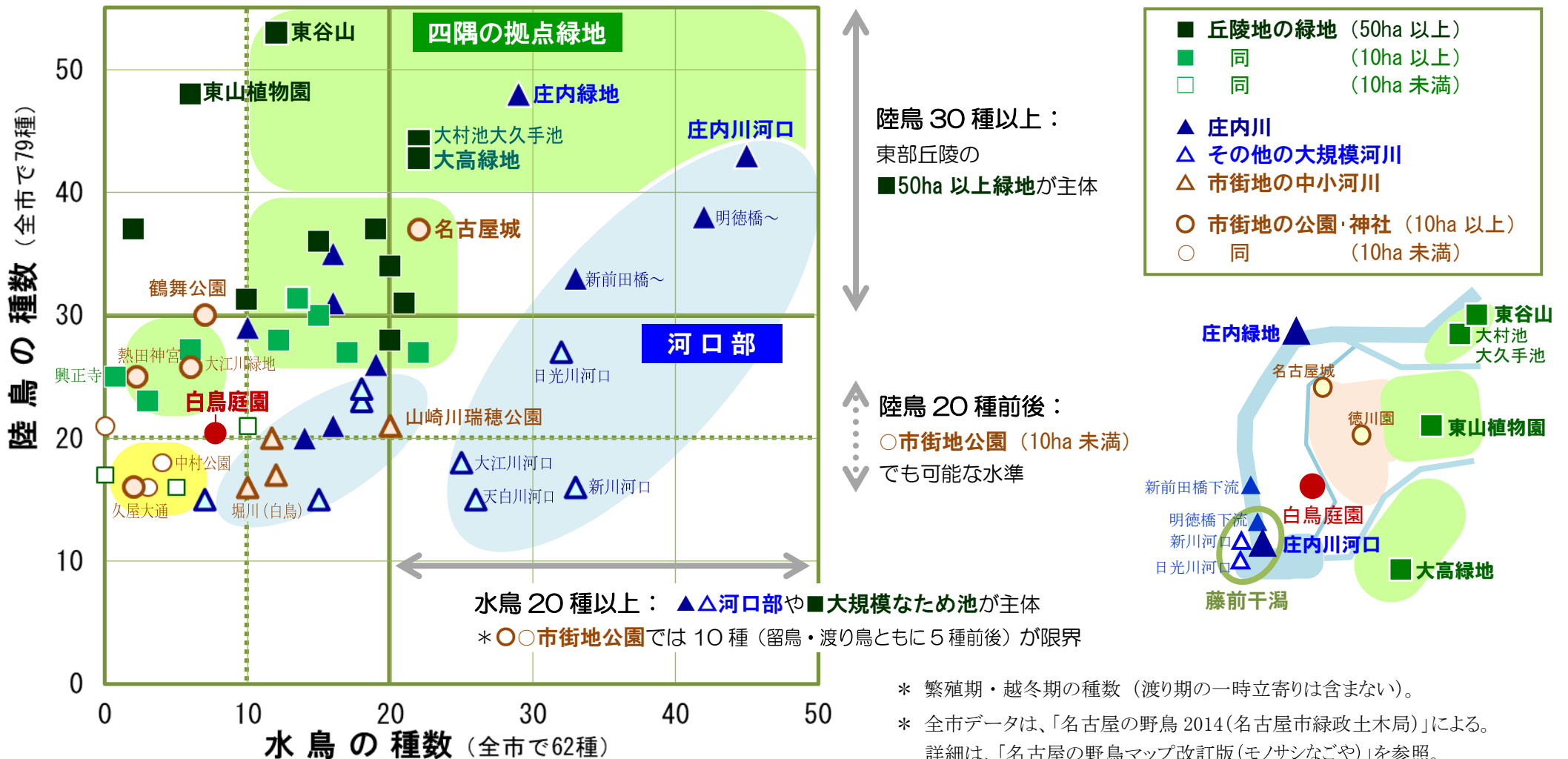
名古屋の野鳥（陸鳥 vs 水鳥）

陸鳥の種数が多いのは… **四隅**（北東＝東谷山・大村池大久手池／北西＝庄内緑地／南西＝庄内川河口／南東＝大高緑地）＋**東山**。

水鳥の種数が多いのは… **河口部** うち庄内川河口は、陸鳥も多様（草地好き・ヨシ原好きの鳥や猛禽類などが多い）。

白鳥庭園は、小粒（敷地 3.7ha、うち池 0.6ha）ながらも健闘。

陸鳥： 毎年 20～21 種（瑞穂公園なみ水準）／ 水鳥： 毎年 8～10 種（鶴舞公園をやや上回る水準）。 *P. 45-46 参照



* 繁殖期・越冬期の種数 (渡り期の一時立寄りには含まない)。

* 全市データは、「名古屋の野鳥 2014(名古屋市緑政土木局)」による。
 詳細は、「名古屋の野鳥マップ改訂版(モノサシなごや)」を参照。

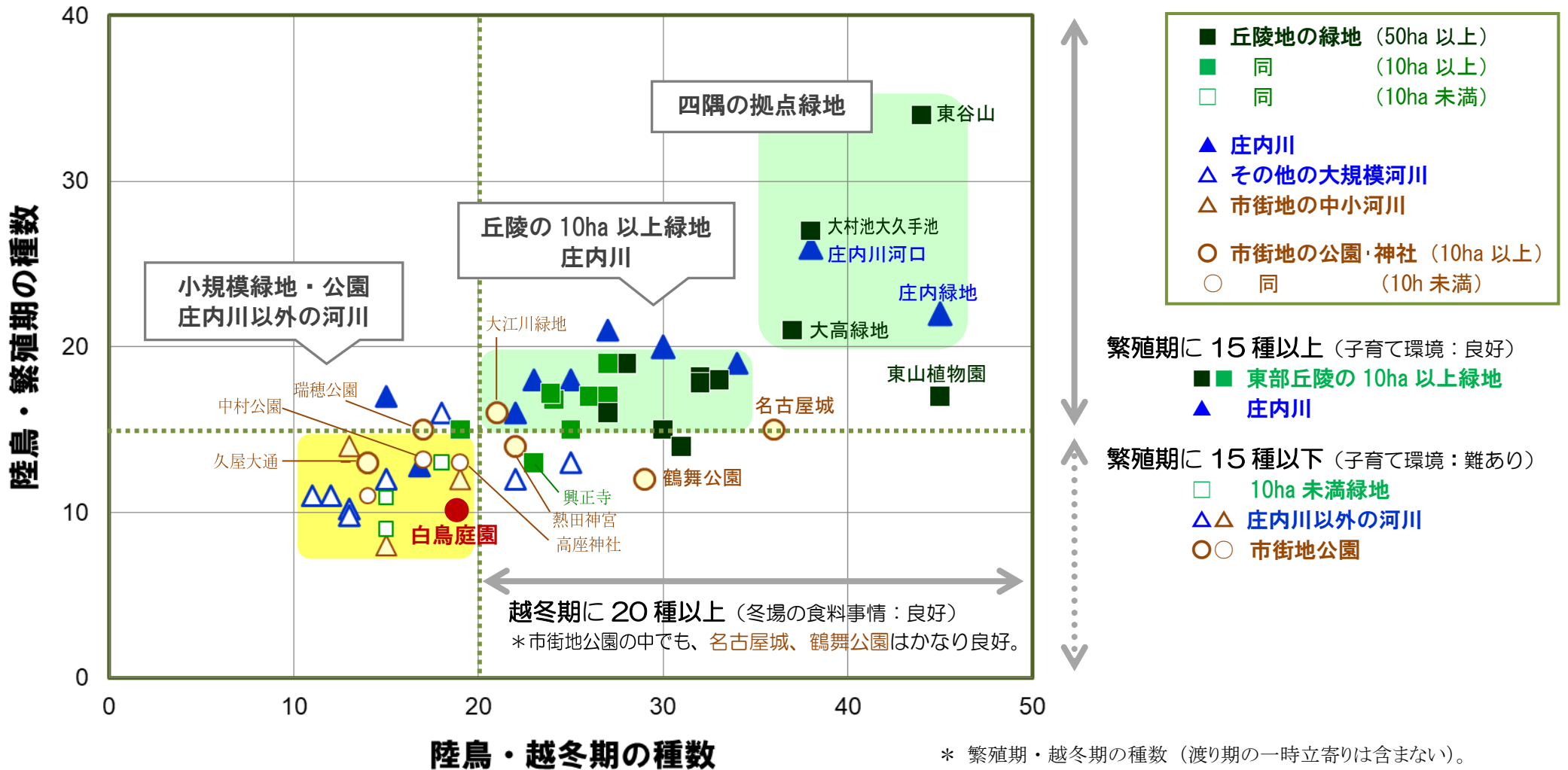
<http://blog.goo.ne.jp/monosashi758> の【17-1027】号。

名古屋の陸鳥（繁殖期 vs 越冬期）

名古屋の**四隅**（北東=東谷山・大村池大久手池／北西=庄内緑地／南西=庄内川河口／南東=大高緑地）は、繁殖期・越冬期ともに種数が多い。これに準ずるのが、**■東山植物園**と**○名古屋城**（繁殖期はそこそこだが、越冬期には四隅なみ=35種以上）。

■■東部丘陵の主要緑地、**▲庄内川河川敷**がこれに続く（繁殖期 15~20種、越冬期 20~35種）。

白鳥庭園は、繁殖環境はイマイチだが、越冬環境は市街地としてはマアマア。



* 繁殖期・越冬期の種数（渡り期の一時立寄り含まない）。
* 全市データは、「名古屋の野鳥 2014(名古屋市長政土木局)」による。詳細は、「名古屋の野鳥マップ改訂版(モノサシなごや)」を参照。
<http://blog.goo.ne.jp/monosashi758> の【17-1027】号。